



執筆者:

モルガン・デルドンヌ 投資
戦略担当ヘッド、欧州

日付: 2022年5月25日 ト
ピック: [インサイツ](#)

GLOBAL X ETF投資戦略

投資戦略マンスリーインサイツ 2022年5月

欧州のエネルギー危機が長期化し、インフレが全世界で猛威をふるい、世界中のサプライチェーンの混乱が続く中、先進国の投資家は予測不可能な市場と格闘しています。欧米の中央銀行がパンデミック関連の金融刺激策を急速に終了させたことも、投資家心理の大きな重しとなっています。

米国では、最近のマクロ経済指標の弱さを受けて、よりディフェンシブな戦略と逃避先を求めて債券が物色されました。しかし、経済指標の軟化は一時的なものでした。米国のマクロ環境は総じて成長を支えています。欧州では、ウクライナ戦争に起因するエネルギー問題、中国の需要後退、一連のサプライチェーン問題にもかかわらず、2022年第1四半期のGDP成長率は0.3%と堅調な水準を維持しました。¹中国に関しては、繰り返される都市封鎖とゼロコロナ政策が経済指標の重しとなっており、現在の厳しい経済状況は概ね国内要因によるものと見られます。

世界市場はこのように混乱しているものの、投資テーマ全体を見渡すと、明らかにポジティブなテーマがいくつかあることが分かります。特にロボティクス、遠隔医療&デジタルヘルス、クリーンテクノロジーといったテーマの成長要因は依然として損なわれておらず、短期的なマクロ経済の弱さもカバーするとみられるため、魅力的なテーマに沿ったバリュエーションが全般的なハイテク指数を上回る可能性があります。これを受けてGlobal Xでは、今は引き続き長期的な成長要因に注目しながら、株価下落局面で上記の投資テーマを検討していく時期であろうと考えています。

今月の主な投資戦略:

- **ハイテク市場の状況** – 年初は非常に厳しかったものの、今は眼識ある投資家が景気サイクル後期のチャンスから利益を得ようと、ハイテク分野のさまざまなテーマを物色中と思われれます。
- **中期的な見通し** – 投資家は、クオリティ、バリュー、および米国や日本のような好調な市場へのエクスポージャーを提供するテーマに機会を見出していると思われれます。
- **ディフェンシブなテーマ** – 遠隔医療&デジタルヘルスおよびサイバーセキュリティは、マクロリスクから恩恵を受け、地政学的リスクに対する強力なヘッジとなると見えています。

ハイテク市場: 株価調整により投資妙味が高まったテーマ

利上げ懸念を背景に大手ハイテク企業の株価が急落しており、主だった銘柄ではマイクロソフト(MSFT)が年初来で22%安、アップル(AAPL)が同17%安となっています。²コミュニケーションテクノロジーでは、フェイスブックの親会社であるメタ(FB)が年初来で44%安、ネットフリックス(NFLX)が同約70%安となっています。³ところが、一部の投資家はこうした株価下落を受けてバリュー株へのポジションを解消し始めました。このことは、インフレ期待がピークに達していることを示唆している可能性があります。

Global Xの見解では、ロボティクス、遠隔医療&デジタルヘルス、クリーンテクノロジーなど、いくつかのテーマにおけるバリュエーションは非常に魅力的にみえます。イールドカーブがスティープ化する中で特に魅力的にみえるフィンテックは、景気サイクル後期のビジネスダイナミクスの恩恵を受ける好位置につけています。現在、Indxx Global FinTech Thematic Indexの株価売上高倍率(PSR)は長期平均の5.9倍を下回る2.8倍となっています。⁴また、エネルギー、クリーンテクノロジー、コモディティ、リチウムと電池テクノロジー、およびインフラは、いずれもマルチアセットポ



中期的見通し: 日米のマクロ動向がテーマの差別化要因に

中期的には、投資家は「バリュウの罠」に陥らないようにすべきですが、目下のマクロ経済環境特有の背景も考慮しなければなりません。現在のような景気サイクル後期のフェーズにおいては、クオリティとバリュウを提供するテーマ、特に米国や日本などの相対的に好調な市場にエクスポージャーを持つテーマが好位置につけています。米国の良好な経済状況と日本の緩和的な金融政策スタンスは、これらの市場の株式がアウトパフォームする一因となる可能性があります。

たとえば、ロボティクスのテーマが好位置につけているようにみえる理由として、プレイロボティクス専門企業の大半が世界の他の国・地域よりもマクロ環境が良好な米国、日本、スイスに拠点を構えていることが挙げられます。Indxx Global Robotics & Artificial Intelligence Thematic Indexは年初来で約36%下落しており、そのバリュエーションは今や長期平均に近づいています。⁵

以下の表は、各テーマへの投資のクオリティとバリュウについて示しています。現在、大半のテーマのバリュエーションがナスダックよりも魅力的にみえます。

	現在のPSR	PSRの長期平均
ゲノミクス&バイオテクノロジー	4.8倍	11.9倍
フィンテック	2.8倍	5.9倍
クラウドコンピューティング	4.3倍	8.7倍
eコマース	1.1倍	2.0倍
遠隔医療&デジタルヘルス	2.8倍	4.8倍
データセンターREIT	2.7倍	4.5倍
クリーンテクノロジー	1.2倍	1.9倍
ビデオゲーム&eスポーツ	3.5倍	4.5倍
サイバーセキュリティ	7.9倍	9.2倍
モノのインターネット(IoT)	2.5倍	2.7倍
ロボティクスとAI	3.1倍	2.9倍
米国のインフラ開発	1.4倍	1.3倍
再生可能エネルギー生産事業	3.2倍	2.7倍
ナスダック100指数	4.1倍	3.5倍
リチウム & バッテリーテクノロジー	2.0倍	1.6倍
自動運転車 & 電気自動車	0.9倍	0.1倍

出所:ブルームバーグ、2022年5月18日現在。長期平均は、ナスダック100指数は過去10年間の推移に基づいており、各テーマの指数については創設から現在までを対象としています。Indxx Global Robotics & Artificial Intelligence Thematic Index、Indxx Cybersecurity Index、Indxx Global FinTech Thematic Index、Indxx U.S. Infrastructure Development Index、Solactive Video Games & Esports Index、Solactive Global Lithium Index、Solactive Genomics Index、Solactive Telemedicine & Digital Health Index、Solactive E-commerce Index、Indxx Global Internet of Things Thematic Index、Solactive Autonomous & Electric Vehicles Index、Indxx Global Cloud Computing Index、Indxx Renewable Energy Producers Index、Indxx Global CleanTech Index、Solactive Data Center REITS & Digital Infrastructure Index。

もう一点注目すべきは、米国における設備投資の増加です。設備投資は通常、景気サイクル後期に増加します。2022年第1四半期、米連邦準備制度理事会(FRB)による利上げが予想されていたにもかかわらず、S&P500指数構成企業の設備投資額は前年同期比19%増となり、現在は新型コロナウイルス感染症拡大以前(2019年第1四半期)の水準を30%上回っています。⁵バンク・オブ・アメリカ・グローバル・リサーチによると設備投資ガイダンス比率は1.8倍に上昇して2021年6月以来の高水準となったことから、企業は投資を継続すると予想されています。⁶

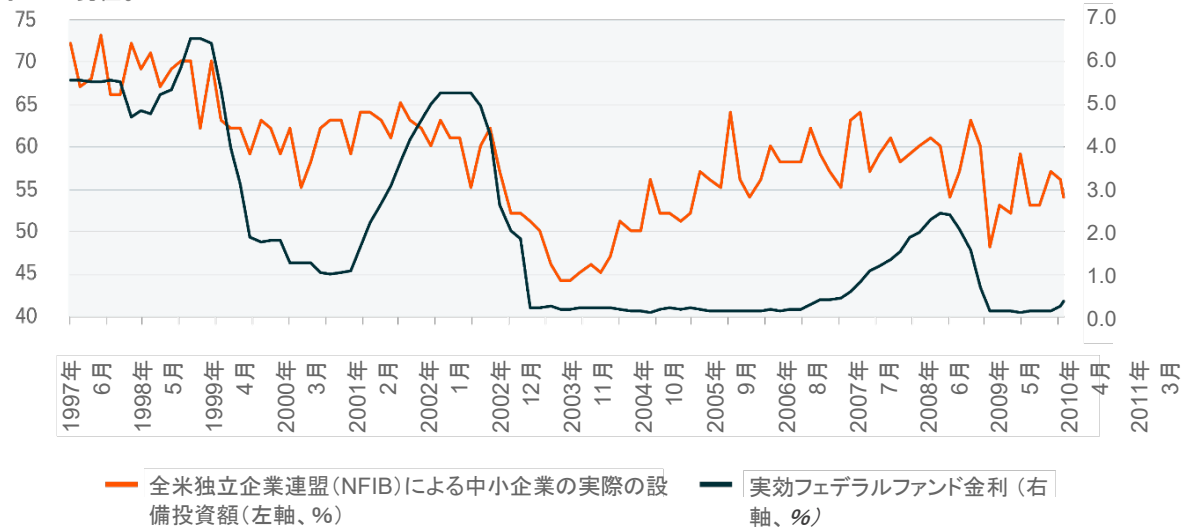


ハイテクに焦点を当てると、ロボティクスがサプライチェーン全体のシステムの自動化を支えていることから、上記のような設備投資が、ロボティクスなどのテーマを後押しするとGlobal Xは予想しています。総じて、ロシアとの地政学的状況を踏まえると法人税ショックや米国と中国、または欧州連合(EU)との貿易紛争の再燃によるサプライズの可能性は低いと、今年の米国の設備投資見通しに対するリスクはかなり限定的と思われる。

景気拡大に伴い堅調な米国の設備投資

出所:ブルームバーグおよび米連邦準備銀行、5

月16日現在。



ディフェンシブテーマ: デジタルヘルスと遠隔医療およびサイバーセキュリティに勢い

現在の景気サイクルが進む中、投資家は、東欧や中国などで相次いでいるような地政学的リスクに対して強力なヘッジとなるディフェンシブなテーマを検討するべきです。Global Xの見解では、遠隔医療&デジタルヘルスがマクロ経済リスクの下振れから恩恵を受ける可能性があります。パンデミックは医療におけるシステムの非効率性を浮き彫りにし、遠隔医療が持つ経済的および社会的メリットが注目されるようになった結果、医療業界全体でテクノロジーのさらなる統合を目指す機運が急速に高まっています。遠隔医療&デジタルヘルスのバリュエーションは魅力的な水準にあり、現在のPSRは長期平均の4.8倍を下回る2.8倍となっています。⁷

サイバーセキュリティも、地政学的リスクに対して有効なヘッジ手段となるテーマであるとGlobal Xは考えています。MSCI ACWI Indexに対するベータ値が0.6と低いことは、サイバーセキュリティが分散化効果を持つこと、現在のバリュエーションが魅力的であること(PSRは長期平均の9.2倍を下回る7.9倍)を示しています。⁷サイバーセキュリティは、経営幹部を対象とした最近のPwCの調査で明らかになったように、長期にわたる強い追い風からも恩恵を受ける見通しです。この調査によると、政府や企業に対する注目度の高いサイバー攻撃が2021年に相次いだことを受けて、2022年はサイバーセキュリティ支出を増やす予定だと回答した経営幹部が全体の69%に上りました。⁹

脚注

1. ユーロスタット(2022年4月29日)。2022年第1四半期予想の速報値: GDPはユーロ圏で0.2%、EUで0.4%増加。ユーロスタット: ユーロインディケーターズ、52/2022。 https://ec.europa.eu/eurostat/documents/2995521/14497760/2_-29042022-BP-EN.pdf/b2bac77e-f630-a6cd-4190-5e891a85331b
2. Lauricella, T., Solberg, L. (2022年5月13日)。Lessons from 2022's tech stock collapse(2022年のハイテク株暴落から得た教訓)。モーニングスター。 <https://www.morningstar.com/articles/1094252/lessons-from-2022s-tech-stock-collapse>

3. Bloomberg L.P.から取得(日付なし)。[データセット]。Global Xのブルームバーグ端末から2022年5月18日に得たデータ。
4. 同上。
5. Fanusie, I. (2022年5月5日)。Capex growth up 19% last quarter despite macroeconomic concerns(前四半期は、マクロ経済への懸念にもかかわらず設備投資が19%増加): BofA - MSN. <https://www.msn.com/en-us/money/savingandinvesting/capex-growth-up-19-25-last-quarter-despite-macroeconomic-concerns-bofa/ar-AAWXfFH?ocid=BingNewsSearch>
6. 同上
7. Bloomberg L.P.から取得(日付なし)。[データセット]。Global Xのブルームバーグ端末から2022年5月18日に得たデータ。
8. 同上。
9. PwCリサーチ(2022年)。Global Digital Trust insights 2022(グローバル・デジタル・トラスト・インサイツ2022年)。PwC. <https://www.pwc.com/gx/en/issues/cybersecurity/global-digital-trust-insights.html>

投資には元本が毀損する可能性などのリスクが伴います。国際投資には通貨価値の不利な変動、一般に公正妥当と認められる会計原則の相違または他国の社会的、経済的もしくは政治的不安定性を原因とする元本毀損リスクが伴う場合があります。新興国市場については上記と同一の要因に加え、高い変動性および低い流動性に起因する他市場より高いリスクが伴います。

単一の国に特化した証券および対象を限定した投資は変動性が高くなる可能性があります。

ETFの証券は市場価格(NAVではありません)で売買され、当ファンドが個別に償還することはありません。投資リターンは、仲介手数料により減少します。

ETFへの投資の価値は増加する場合と減少する場合の両方があり、過去のパフォーマンスは将来のパフォーマンスの信頼できる指標ではありません。

ETFの取引は、高いリスクを伴うため、すべての投資家に適しているわけではありません。初期投資額をすべて失う可能性があります。投機は失っても良い金額で行うようご注意ください。また、為替レートの変動により、投資の価値が上下する場合があります。税務上の取扱いは、お客様それぞれの状況により異なります。また、将来的に変更される可能性があります。関連するリスクを十分にご理解いただいていることをご確認ください。疑問がある場合は、独立した財務アドバイザーにご相談ください。投資家は、発行体が提供する証券への投資に関連するリスクおよびその他のリスクの詳細を確認するため、関連する目論見書の「リスク要因」と題された項を必ずご参照ください。

本資料は特定の一時点における市場環境の評価であり、今後の出来事を予測することを意図しておらず、今後の成果を保証するものではありません。この情報は個人または個別の投資アドバイスまたは税務アドバイスを意図するものではありません。この情報を売買または取引のために使用しないでください。投資、納税、税務については、投資顧問、税理士をはじめとする専門家に相談してください。

投資を実際に行う前に、ファンドの投資目標、リスク、手数料、費用について慎重にご検討ください。これらの情報およびその他の情報は、globalxetfs.comで入手可能なファンドの目論見書の全文または要約に記載されています。投資を行う前に、十分注意して目論見書をお読みください。

Global X Management Company LLCはGlobal Xファンドのアドバイザーです。

